



## 豊作の稻田に珍力カシ

日曜特集

この手

スズメ追放に

早生種は絶対に早いもの入れが始まるわ、晚生種はほとんど穂が出てない収穫期に入っている。イモチ病や、虫害による被害も少なく、水稲は順調な成長振りだが、この収穫期に入った稲穂をめがけてスズメが寄せ集まり、やわらかな音で食い散らしている。地獄籠を使って、織打尽の捕獲、燃露機、鳥追い小屋などの手の手の駆除法が用いられているが、リバーバルの姿に表つて、「かかし」も登場、スズメを追うて寝ている。耕耘器によくスズメが寄りこないようにして、結局オーブンドッグスなど百姓さんの姿の一本足のかかしが永続するとの老百姓の話を反映してか、数多く一本足のかかしが現れるようになっている。

勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

を風込んで、二口ニコ彌のオッ

サンが走っているかわいい男だか

ただか判別できない服装がまじり

現代若者風を風刺した「サビの

きいたもの、それとも...」と想像

する。勿来市稻田町石塚の小沢誠さん、父尊國さんと娘姫子さん

が、おじいちゃんの「かかし」を守るために、毎日朝から夜まで

田に仕掛けられる。

水色の女装バランキを、製作

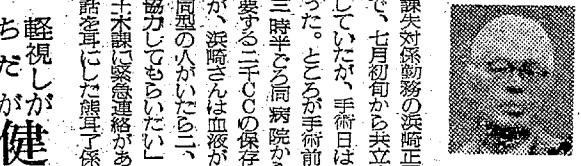
を風込んで、二口ニコ彌のオッ



# 「肺ガン」の手術成功

平市役所 同僚の輸血で助かる

健康診断で肺部に異常を認められた、精神科病院で検査結果を受けた結果が「肺ガン」の疑いが濃くなり、早急に手術することになったための手術に必要な血液が足りず、これをきいた同僚三人が輸血を申し出た無事に手術を終えたという友情義談が話題になつていて。



健康診断で肺部に異常を認められた、精神科病院で検査結果を受けた結果が「肺ガン」の疑いが濃くなり、早急に手術することになったための手術に必要な血液が足りず、これをきいた同僚三人が輸血を申し出た無事に手術を終えたという友情義談が話題になつていて。

遠く市外の名医長に肺癌保育者を探してもらつたところ、〇型

患者海平市役所所長は協力したい」と申し出た。このま

まには平市立病院の医師が車で運んで申し出た職員もいた。

同様の協力で活躍する市長は、予定通り八日前十時から行なわれた。採用したのは精神科医長、土木課機械秋山健次郎市長が、深谷さんは脳卒中で

お年寄りの妻が車で運んでくれた。これが面倒といつて輸血した。この

たる自殺でも自由せず約四

時間の手配も順調に進み、絶対

はわかつてない。

自転車衝突し重傷となり、常磐市場

の車両が走つて横道の国道で

本町交差点の地内に国道三番路の

自転車に乗つて横道の国道で

本町交差点の地内に国道三番路の

自転車が走つて横道の国道で

